

研究課題名 大腸癌再発後の予後因子としての CEA-R の有用性

1. 研究の対象

2006年4月から2018年12月の期間に根治手術を施行され、当院で治療を受けた再発大腸癌症例131例を対象として、年齢、性別、手術内容、画像データ、合併症などの発生状況、カルテ番号、生年月日、再発の有無、転帰、病理検体番号、採血データを抽出し解析を行います。

2. 研究目的・方法・研究期間

根治切除が得られた大腸癌の再発リスク因子についてはこれまでに様々な報告がありますが、再発のリスク因子とされるものの一つに血中CEA (carcinoembryonic antigen) がございます。

これまでには術前・術後のCEA値の推移や、術前・術後のCEAのカットオフ値によって再発後の予後との相関を調べる研究報告があるが、CEAと再発後の予後の相関関係は未だ不明とされています。

本研究では、電子カルテ上の採血データから得た再発3ヶ月前の血中CEA値を基準とし、再発時点での血中CEA値との比(CEA-R)を求めることで、再発後の生命予後との相関を後方視的に解析し、患者の背景因子についても解析を行います。

研究期間は実施承認日から2022年3月31日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、手術内容、画像データ、合併症などの発生状況、カルテ番号、生年月日、再発の有無、転帰、病理検体番号、採血データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科 病院講師 上原 圭
電話番号 052-744-2222